

| | | | | |
|--|---|---|--|--|
| 津山工業高等専門学校 | 開講年度 | 令和06年度 (2024年度) | 授業科目 | 日本語検定 |
| 科目基礎情報 | | | | |
| 科目番号 | 0161 | 科目区分 | 一般 / 選択 | |
| 授業形態 | 講義 | 単位の種別と単位数 | 履修単位: 1 | |
| 開設学科 | 総合理工学科(情報システム系) | 対象学年 | 4 | |
| 開設期 | 通年 | 週時間数 | 1 | |
| 教科書/教材 | 参考書: 『日本語検定公式練習問題集 2級』『日本語検定公式過去問題集 2級』『日本語検定公式テキスト「日本語」上級 (1・2級受検用)』(以上, 東京書籍) など, 日本語検定公式ホームページ http://www.nihongokentei.jp | | | |
| 担当教員 | 江原 由美子 | | | |
| 到達目標 | | | | |
| 学習目的: 日本語の総合的な運用能力を高め, コミュニケーション能力の向上を図る。 | | | | |
| 到達目標 1. 日本語に関する知識を拡充し, 多様な場面におけるコミュニケーションに活かすことができる。 ◎ 2. 効果的な説明方法や手段を用いて, コミュニケーションを図ることができる。 | | | | |
| ルーブリック | | | | |
| | 優 | 良 | 可 | 不可 |
| 評価項目1 | 日本語検定 2級以上に優秀な成績で合格する。 | 日本語検定 2級以上に良好な成績で合格する。 | 日本語検定 2級以上に合格する。 | 日本語検定 2級以上に合格できない。 |
| 評価項目2 | 日本語検定 2級以上の日本語の知識を活かし, より良いコミュニケーションを行うことができる。 | 日本語検定 2級以上の日本語の知識を活かし, 円滑なコミュニケーションを行うことができる。 | 日本語検定 2級以上の日本語の知識を活かし, コミュニケーションを行うことができる。 | 日本語検定 2級以上の日本語の知識を活かしたコミュニケーションを行うことができない。 |
| 学科の到達目標項目との関係 | | | | |
| 教育方法等 | | | | |
| 概要 | 一般・専門の別: 一般 学習の分野: 国語 基礎となる学問分野: 人文学/言語学 学習教育目標との関連: 本科目は「④教養豊かな実践的人間力の養成」「⑤グローバルな視点と社会性の養成」及び「⑦コミュニケーション力・プレゼンテーション力の育成」に相当する科目である。 授業の概要: 日本語(敬語・文法・語彙・言葉の意味・表記・漢字)についての学習を自主的に行い, 日本語検定の受検でその成果を試す。 | | | |
| 授業の進め方・方法 | 授業の方法: 担当教員の指導のもとに, 日本語検定の受検に対応した問題演習を, 各自が自主的に行う。 成績評価方法: 日本語検定 2級以上に合格した者は, 担当教員に申し出るとともに, 所定の期日までに教務係へ単位修得申請を行うこと。教務委員会が単位認定を審議し, 合・否で評価する。 | | | |
| 注意点 | 履修上の注意: 本科目は1~4年対象の選択科目である。所定の期日までに, 選択科目履修願を提出すること。また, 本科目は資格取得による科目であり, 単位の修得には単位修得申請手続きを行うことが必要である。選択科目において課程修了のために認定される単位数は, 一般科目については4単位以内, 専門科目については6単位以内である。 履修のアドバイス: ・事前に行う準備学習として, 日本語検定公式ホームページ等を見て, 自分のレベルをチェックしておくこと。 ・一般会場(県内は岡山市に設置)で個人受検をすること。2024年度の検定日は, 第1回が6月15日(土), 第2回が11月9日(土)。 基礎科目: 国語Ⅰ(1年), 国語Ⅱ(2), 国語Ⅲ(3), 国語Ⅳ(4) 関連科目: 日本語に関わる全科目 受講上のアドバイス: ・日本語検定は, 「敬語・文法・語彙・言葉の意味・表記・漢字」の6領域から幅広く出題され, 合格には, 全領域でバランスよく得点することが必要である。 ・2級は社会人・大学生レベルであるが, 実力での合格は難しく, 受検対策の勉強が必要である。自身の日本語能力と受検日に合わせて, 学習を進めること。 ・日本語検定の受検結果には, 「認定」「準級認定」「不合格」の3種類があるが, 単位が認定される「2級以上に合格」は, 「2級認定」「準1級認定」「1級認定」のいずれかである(「準2級認定」は含まない)。 ・力試して受検する場合は, 単位にはならないが, 3級(社会人・大学生・高校生レベル)の受検を勧める。2級と3級を同時に受検することも可能である。 | | | |
| 授業の属性・履修上の区分 | | | | |
| <input type="checkbox"/> アクティブラーニング | | <input type="checkbox"/> ICT 利用 | | <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応 |
| <input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業 | | | | |
| 選択 | | | | |
| 授業計画 | | | | |
| | 週 | 授業内容 | 週ごとの到達目標 | |
| 前期 | 1stQ | 1週 | 日本語検定についてのガイダンス。 | 単位認定の要件について理解する。 |
| | | 2週 | 担当教員の指導のもとに, 日本語検定 2級以上の受検に対応した問題演習を, 各自が自主的に行う。 | 受検日を考えて勉強を進めることができる。 |
| | | 3週 | 同 | 同 |
| | | 4週 | 同 | 同 |
| | | 5週 | 同 | 同 |
| | | 6週 | 同 | 同 |
| | | 7週 | 同 | 同 |
| | | 8週 | (前期中間試験) | |
| | 2ndQ | 9週 | 担当教員の指導のもとに, 日本語検定 2級以上の受検に対応した問題演習を, 各自が自主的に行う。 | 受検日を考えて勉強を進めることができる。 |
| | | 10週 | 同 | 同 |
| | | 11週 | 同 | 同 |

| | | | | |
|----|------|-----|---|----------------------|
| | | 12週 | 同 | 同 |
| | | 13週 | 同 | 同 |
| | | 14週 | 同 | 同 |
| | | 15週 | (前期末試験) | |
| | | 16週 | 担当教員の指導のもとに、日本語検定2級以上の受験に対応した問題演習を、各自が自主的に行う。 | 受験日を考えて勉強を進めることができる。 |
| 後期 | 3rdQ | 1週 | 担当教員の指導のもとに、日本語検定2級以上の受験に対応した問題演習を、各自が自主的に行う。 | 受験日を考えて勉強を進めることができる。 |
| | | 2週 | 同 | 同 |
| | | 3週 | 同 | 同 |
| | | 4週 | 同 | 同 |
| | | 5週 | 同 | 同 |
| | | 6週 | 同 | 同 |
| | | 7週 | 同 | 同 |
| | | 8週 | (後期中間試験) | |
| | 4thQ | 9週 | 担当教員の指導のもとに、日本語検定2級以上の受験に対応した問題演習を、各自が自主的に行う。 | 受験日を考えて勉強を進めることができる。 |
| | | 10週 | 同 | 同 |
| | | 11週 | 同 | 同 |
| | | 12週 | 同 | 同 |
| | | 13週 | 同 | 同 |
| | | 14週 | 同 | 同 |
| | | 15週 | (後期末試験) | |
| | | 16週 | 合格者に対する、単位取得申請手続きの説明。 | 期日までに単位修得申請手続きを行う。 |

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

| 分類 | 分野 | 学習内容 | 学習内容の到達目標 | 到達レベル | 授業週 | | |
|-------------|-----|------|-----------|-------|-----|------|-----|
| 評価割合 | | | | | | | |
| | 試験 | 発表 | 相互評価 | 自己評価 | 課題 | 小テスト | 合計 |
| 総合評価割合 | 100 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 100 |
| 基礎的能力 | 100 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 100 |
| 専門的能力 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 分野横断的能力 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |